

# 建設技術審査証明書

技術名称：パルテム取付け管工法  
(取付け管の修繕工法)



審査証明第 1120 号

## (開発の趣旨)

下水道管きよの取付け管では、地震や地盤沈下などで損傷したり、継手部がズレたり、経年変化により劣化しているものがみられる。また、損傷部からの土砂の流入等により地面の陥没の恐れがある。このような問題のある管きよを開削せずにライニングし、本管と取付け管の接合部を一体化する修繕工法を開発した。従来の取付け管修繕工法の多くは、接合部止水方法を取付け管部ライニングと接合部ライニングの2工程に分けて止水を行っていたが、本工法ではツバ部に塗布された膨潤シーラントにより1工程で止水を行なうことが可能となった。

## (開発目標)

本技術の開発目標は、次に示すとおりである。

- (1) 施工性：次の条件下で取付け管の施工ができること。
  - ①延長 10m 以下
  - ② 45 度以下の曲管
  - ③段差 15 mm 以下
  - ④隙間 50 mm 以下
- (2) 接合部施工性：次の条件下で本管と取付け管の接合部の施工ができること。
  - ①本管と取付け管の隙間が 20mm
  - ② 0.05MPa, 2ℓ/min までの浸入水
- (3) 水密性：ライニング後の本管と取付け管の接合部は、0.05MPa の外水圧および内水圧に耐える水密性を有すること。
- (4) 耐高圧洗浄性：ライニング後の本管と取付け管の接合部は、15MPa の高圧洗浄による剥離・損傷がないこと。
- (5) 耐薬品性：ライニング管は、「下水道内挿用強化プラスチック複合管 (JSWAS K-16)」と同等以上の耐薬品性を有すること。
- (6) 耐摩耗性：ライニング管は、「下水道用硬質塩化ビニル管 (JSWAS K-1)」と同等以上の耐摩耗性を有すること。
- (7) 耐荷能力：ライニング管は、短期曲げ強さの試験値が 98N/mm<sup>2</sup> 以上、短期曲げ弾性係数の試験値が 3430N/mm<sup>2</sup> 以上であること。

(財) 下水道新技術推進機構の建設技術審査証明事業 (下水道技術) 実施要領に基づき、依頼のあった「パルテム取付け管工法」の技術内容について以下のとおり証明する。

なお、この技術は 2007 年 3 月 2 日に審査証明を取得し、更新された技術である。

2012 年 3 月 8 日

建設技術審査証明事業実施機関

財団法人 下水道新技術推進機構

理事長

石川 忠 男

記

## 1. 審査の結果

上記すべての開発目標を満たしていると認められる。

## 2. 審査証明の前提

- (1) 提出された資料には事実と反する記載がないものとする。
- (2) 本技術に使用する材料は、標準施工要領に従い、適正な品質管理のもとで製造されたものとする。
- (3) 本技術の施工は、標準施工要領に従い、適正な施工管理のもとで行なわれるものとする。

## 3. 審査証明の範囲

審査証明は、依頼者から提出のあった開発目標に対して設定した審査方法により確認した範囲とする。

## 4. 審査証明の詳細

(建設技術審査証明 (下水道技術) 報告書参照)

## 5. 審査証明の有効期限

2017 年 3 月 31 日

## 6. 審査証明の依頼者

芦森工業株式会社 (大阪府大阪市西区北堀江三丁目 10 番 18 号)  
芦森エンジニアリング株式会社 (東京都中央区日本橋室町四丁目 3 番 16 号)